

## パパのせなか

四元陽向よつもと ひなた

パパのせなかは、大きい。ぼくの三つ分ある。パパのせなかは、あたたかい。朝早いおしごとのとき、おふとんがあたたかい。パパのせなかは、高い。そのおかげで高い木にいる虫もすぐつかまえてくれる。パパのせなかは、はやい。いっしょにおにごっこするとすぐにぼくをタッチする。パパの

ありがとう。」といつてみた。なんだか、大きいせなかが小さくなり、「こちらこそ、元気でいてくれてありがとう。」といわれた。かおは、見えなかつたけれど、ぼくもパパもうれしそうだった。大きくなったら、パパよりも大きなせなかなになれるかな。なりたいな。

せなかは、太い。おすもうしても、びくともしない。パパのせなかは、かっこいい。つりにいっても、ぼくよりも大きい魚をつる。パパのせなかは、おもしろい。おふろにはいるまえ、いっしょにはだかでおどつてくれる。パパのせなかは、やさしい。ぼくがこまっているとき、たすけてくれる。そんなパパのせなかにおんぶされたとき、「いつも、